

年次継続監視評価表(令和元年度)

1 基礎情報

| | |
|----------|--|
| 対象施設 | 放課後児童クラブCブロック(公立14施設) |
| 施設の設置目的 | 放課後等に保護者が就労等により常時留守となっている家庭の児童に対し、必要な保育を行い、児童の健全な育成を図る。 |
| 施設所管部署 | こども未来部 保育課 |
| 指定管理者 | 株式会社 トライグループ |
| 指定期間 | 平成31年4月1日から令和6年3月31日まで |
| 指定管理業務内容 | (1)家庭生活及び社会生活に必要な生活習慣の育成 (2)児童クラブに入室した児童の保育に関する業務 (3)児童クラブの施設の維持管理に関する業務 |

2 施設利用状況の推移

| | 過去5年間の平均 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|--------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 人数(件数) | 547 | 553人 | | | | |
| 対前年度比 | - | 6人 | | | | |

3 施設利用者の満足度(利用者アンケート結果) ※3ブロック全体結果

| | 回答者数 | 満足度 | | | |
|--------------|---|---------|--------|--------|--------|
| | | 施設・設備管理 | 接客対応 | おやつ | 全体 |
| 上半期 | 560 | 63.30% | 75.40% | 51.80% | 69.30% |
| 下半期 | 858 | 71.70% | 80.70% | 60.30% | 78.90% |
| 利用者の主な意見・要望等 | <ul style="list-style-type: none"> ・現場の支援員への感謝及び意見、要望 ・トライグループ事務局への意見、要望 ・施設の修繕・整備要望 | | | | |

4 主な自主事業実績

| 自主事業名 | 内容 | 参加者数等 |
|-------------|--|-------|
| ドローン体験 | 専門的なスタッフによるドローンの操縦やプログラミングなどを体験。 | 330 |
| その他、夏、冬イベント | サイエンスショー、紙飛行機、囲碁教室、バルーンアート、回文教室など、多種多様な様々イベントを開催 | 347 |

5 主な修繕実績

| 修繕箇所・修繕名等 | 内容 | 金額 |
|-----------|------------|--------|
| 空気清浄機(幸松) | 修理(部品交換等) | 11,990 |
| エアコン(桜川) | エアコン点検及び修繕 | 16,390 |
| 窓ガラス(小沢) | 破損により交換 | 41,040 |

6 収支状況

(単位:円)

| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 合計 |
|-------------------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------------|
| 収入額 A | 147,015,356 | | | | | 147,015,356 |
| 内、指定管理料 a | 137,647,856 | | | | | 137,647,856 |
| 内、利用料金収入 | 9,367,500 | | | | | 9,367,500 |
| 支出額 B | 147,015,356 | | | | | 147,015,356 |
| 内、人件費 | 130,503,627 | | | | | 130,503,627 |
| 収支額 A-B | 0 | | | | | 0 |
| 対前年度比 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 想定事業費 C | 157,894,150 | | | | | 157,894,150 |
| 削減額 C-a | 20,246,294 | 0 | 0 | 0 | 0 | 20,246,294 |
| 特記事項 (増減額の説明等) | | | | | | |

※「想定事業費」:市が直営で管理した場合に想定される事業費

7 四半期継続監視結果

| 区分 | 評価結果 | 特記事項(不適となった事項の有無、指導事項、改善状況等) |
|-------|------|--|
| 第1四半期 | B | ・放課後児童支援員数に不足はないが、配置が適切ではないクラブがある。 ・入退室管理システムの運用が不十分なクラブがある。 |
| 第2四半期 | A | ・放課後児童支援員数に不足はないが、配置が適切ではないクラブがある。 ・事故報告書の提出が遅れることがある。 |
| 第3四半期 | A | ・放課後児童支援員数に不足はないが、配置が適切ではないクラブがある。 ・おやつ代の口座振替手続きについて、保護者からの改善要望が多い。 |
| 第4四半期 | A | ・放課後児童支援員数に不足はないが、配置が適切ではないクラブがある。 ・エアコン修繕について、不十分なクラブがある。 |

※評価結果の凡例

A：適切な指定管理業務が実施されている。

B：適切な指定管理業務が実施されておらず、さらなる努力を要する。

C：全体的に適切な指定管理業務が実施されておらず、取り組みを見直し。

8 年間を通じた個別事項の評価

| No. | 評価項目 | 主な内容 | 適 |
|--------|--------------------------|----------------------------------|---|
| 1 | 住民の平等な利用が確保されているか。 | 施設の目的及び市が示した管理の方針と合致した内容となっているか。 | ○ |
| | | 児童の保護及び遊びを通しての育成指導に適した内容となっているか。 | ○ |
| 2 | 施設の効用を最大限に発揮させているか。 | サービス向上のための適切な方策が実施されているか。 | ○ |
| | | 小学校との適切な連携が行われているか。 | ○ |
| | | 保護者との協力体制は適切か。 | ○ |
| | | おやつに関する業務についての運営は適切か。 | × |
| 3 | 施設の適切な管理運営が計画的に実施されているか。 | 事業計画書で提案された内容が適切に実施されているか。 | ○ |
| | | 書類等文書の作成・管理・保存は適正に行われているか。 | ○ |
| | | 施設の安全・衛生管理、危機管理、災害時等緊急時の対応は適切か。 | ○ |
| | | 適切な計画の下、効果的な修繕・保守点検が実施されているか。 | ○ |
| 4 | 管理に係る経費の縮減が図られているか。 | 事業収支は事業計画書による計画と乖離していないか。 | ○ |
| | | サービス水準を確保した効果的な経費縮減に取り組んでいるか。 | ○ |
| | | 会計処理業務が適切に行われているか。 | ○ |
| 5 | 安定的な運営体制が確保されているか。 | 職員体制は十分か。 | × |
| | | 職員採用、確保の方策は適切か。 | ○ |
| | | 職員の育成指導、研修体制は十分か。 | ○ |
| | | 適正な雇用・労働条件が確保されているか。 | ○ |
| 6 | その他 | 個人情報に関する情報の管理体制は十分か。 | ○ |
| | | 市との適正な信頼関係や協定書等に基づく協力関係が築けているか。 | ○ |
| 適(○)の数 | | 17/19 | |

特記事項(指定管理者への指示事項等)

職員体制については、各クラブへの職員配置数等に偏りがあり、江戸川など、一部のクラブでは職員配置が適切ではなかったため、継続監視時に改善するように指示しています。また、南桜井で賞味期限切れのおやつを提供してしまった事案があったため、原因の報告と再発防止策の提示を指示しています。

9 総合評価

住民サービスの向上や経費の節減について

新たな指定管理者として、児童の入退室をICカードをかざすことで確認できる「入退室管理システム」を導入、また、学校の長期休業期間中に「ドローン体験」など様々なイベントを実施するなど、これまでの児童クラブにはなかった取り組みを実施することで、住民サービスの向上に努めていました。

指導に対する対応・改善状況について

当初より、全体としての放課後児童支援員数は確保されていましたが、各クラブへの適正配置が不十分であったため、年4回の継続監視時において指摘してきました。各クラブの状況を踏まえながら人事異動などを行って徐々に改善し、年度末までには適正な配置となっています。

また、賞味期限切れのおやつを提供した南桜井については、全員が目にとまる場所に確認事項の用紙を貼り、必ず複数の目で賞味期限の確認をしてから提供することを徹底すると現場の支援員に確認しました。

その他(上記以外の制度導入による効果、業務状況、課題、今後の方向性等)

指定管理者の変更に伴い、これまでになかった民間企業ならではの取り組みが実施されたことに加えて、前年度まで不足していた放課後児童支援員の人数が充足されたことは大きな成果であると考えています。今後は充足された支援員への研修等により、放課後児童クラブの安定的な運営とさらなる質の向上を目指します。

令和元年度の評価結果

A